

メ ッ セ ー ジ

——日本の市民アピールへの支持声明——

最近、韓日中の間に独島（日本名・竹島）、尖閣諸島（中国名・釣魚島）などをめぐる紛争が、いわば「現状維持」の水準を超えて領土ナショナリズムが爆発的に悪循環し、それが軍拡の悪循環へとエスカレートして、冷戦後の数十年間に築き上げた経済交流や文化交流の蓄積が急に揺さぶられて後退しているのを見て大いに失望した。日本の少数極右勢力の「植民地的反動」を克服する東アジアの正義の力がこれほど弱いものかと嘆いた。

しかし、日本市民社会の知識人らの<「領土問題」の悪循環を止めよう！>との訴え、特に領土問題は日本の侵略主義の産物で、歴史清算の次元でアプローチすべきではないかとの方向を示したことで、その良識と勇氣に感銘を受けた。

また、これに呼応して連帯する中国知識人たちの声明、台湾知識人たちの声明、そして個別の作家らの寄稿文を見て深く共感する。東アジアの過去史の克服は可能であり、紛争の種は協力の契機になれるという展望をもつことができた。

ここに韓国からも日本の市民アピールの基本的な趣旨に熱い支持と声援を送り、連帯の手をともに固く握ろうと呼びかけたい。

国家間の境界を乗り越え、東アジアの市民・知識人の連帯で過去史の横暴を克服し、真実と和解の東アジアを建設するという希望を共有したいと思います。

2012年10月17日

韓日知識人共同声明韓国署名者（596名）一同

共同代表 金泳鎬（檀国大学碩座教授）

白樂晴（ソウル大学名誉教授）

金鎮炫（大韓民国歴史博物館建立委員長）

南時旭（世宗大学碩座教授、前文化日報社長）

李泰鎮（ソウル大学名誉教授）

鄭昌烈（漢陽大学名誉教授）

金京熙（知識産業社代表）

※このメッセージは10月15日の発起人会議で決議し、インターネット会議を経て17日に合意、発表した。